

本時のねらい

自分のおすすめの本を選び、他学年の子どもに紹介する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

iPad のカメラ機能や、友だちが提出したのを見ることのできるオクリンクを用いることで、自分の発表をよりわかりやすいものへと粘り強く追及する力を養う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ オクリンク
- ・ カメラ
- ・ Safari

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	○本時のめあて 「iPad を使って、自分の好きな本を紹介しよう。」	・全体で、本時の課題や流れ、オクリンクの使い方等をスライドで確認する。
展開 (30 分)	○紹介する本の写真を撮る。 ○メディアセンターにない本の場合は、インターネットで調べても良いこととする。 ○オクリンクで、写真の貼り付け、見出しを追加し、それらの配置を考える。 ○完成したものを提出 BOX に提出する。	・授業者の画面を共有し、児童の画面に説明を表示する。 ・インターネットから調べる際は、スクリーンショットを使って記録する。 ・文字入力だけでなく、音声入力でもよいこととする。 ・早くできた児童は、2 つ目、3 つ目と増やし、オクリンクの画面上で 1 つ目からデータをつなげていく。
まとめ (5 分)	○友だちの作品を見て、振り返りを行う。	・オクリンクの提出 BOX を開き、他の友だちはどんな風に作成しているかを見て、良いところを見つける。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 :好きな本の写真を撮っている場面



写真 2 : 友だち同士で入力の仕方を教えあっている場面



写真 3 : 写真の大きさ、文字の配置などレイアウトを決めている場面

児童生徒の反応や変容

児童の中には、iPad を使いこなしている子から、まだ操作が苦手な子もいた。しかし、授業が終わったときにはほとんどの児童が自分のプレゼン資料を作成し、先生に提出することができた。また iPad の使い方のわからない児童がいたら「こうしたらできるよ」と優しく教える姿もあった。文字の入力ができない児童は音声入力を使い、長い文も挿入することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

異学年合同で iPad を使おうと思ったのは iPad をより身近に感じて、自分でできることを増やして欲しいと思ったからだ。そこから何を使って iPad に慣れさせようかと考えたところ、「好きな本の紹介」の単元と関連させた実施を考えた。オクリンクはタップするだけで操作ができ、低学年でも活動することができる。また児童自身も複数の先生がいるので安心して進めることができた。

今後も、iPad を取り入れる学習を積み重ねて、それぞれの児童が自信を持って操作できるようになり、一人ひとりの目標にあわせて、授業等で主体的に取り組む力を育てていきたい。